

一宮市立市民病院

病院長名	志水 清和
	〒491-8558
所在地	一宮市文京二丁目2番22号
	J R 尾張一宮駅
交通案内	名鉄 名鉄一宮駅から徒歩20分

□ 病院の特徴

当院は尾張西部医療圏の中心的な基幹病院です。ICU、NICUを含め584床、29の診療科があります。救命救急センター、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院に指定され、結核・感染症病棟の運営を行う等、医療の拡充に努めています。また、緩和ケア病棟も併設しています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

一宮市立市民病院内科専門研修プログラム

【研修期間】

3年

【研修概要】

- ・専門研修1年目…内科ローテーション研修（循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科）を行い、主担当医として、診断・治療の流れを通じて全人的医療を実践する。また、救命救急センター（3次）で内科救急対応の研修を行う。
- ・専門研修2，3年目…subspecialtyを中心とした連動研修を行い、内科全般の研修を深めるとともに、内科系subspecialty専門医になるための必要な症例経験、技能の獲得を目指す。3年目には連携病院での研修を行う。



□ 主な連携施設

【連携施設】

名古屋大学医学部附属病院、大垣市民病院、稲沢市民病院、江南厚生病院、海南病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、名古屋医療センター、市立四日市病院、総合大雄会病院、津島市民病院

【特別連携施設】

千秋病院

□ メッセージ

指導医（副院長 伊藤 宏樹）

一宮市立市民病院は尾張西部医療圏の中核病院です。救命救急センターで3次救急に対応しており急性期重症患者さんも多数搬送され高度な急性期医療が学べます。血液内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科も症例数が多く希少疾患も経験可能で、各



subspecialty学会指導医の指導の下、subspecialty学会専門医取得のための連動研修が受けられます。初期研修医を毎年11-14名迎えており若い先生も活躍しています。

内科ローテーション研修で内科各科の症例経験は1年程度で充分可能で、2年目以降subspecialtyの連動研修を行うことができます。

ぜひ一度病院見学に来てください。皆さんのご応募をお待ちしています。

□ 募集要項

・採用予定人数	8人
・給与／月額	1年次 410,640円、2年次 424,792円、 3年次 440,916円
・当直回数／月	3回
・当直料／回	救外宿直は、時間外勤務手当を支給。ERICU宿直は13,600円の宿日直手当と一部時間外手当を支給。
・その他	金額等は当院在籍の場合。
・応募連絡先	担当者 一宮市立市民病院 管理課 臼井
	電話番号 0586-71-1911
	Eメール kan-138@municipal-hospital.ichinomiya.aichi.jp